宇治市政だより

発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治蓮華38番地
電話㉒3141(代)
印刷所 新進堂印刷

# 号外特集 ゴミ問題を考えよう

# 無公害工場にびっくり

## 環境衛生連合会が最新工場を視察

## 必要な収集車の公害対策

宇治市では、ふえるゴミに対処して、市内に建設が予定されている、第二清掃工場用地問題を円満に解決するため、努力を続けています。

第二清掃工場建設にあたって城南衛生管理組合や宇治市では、最近のゴミ焼却場は、無公害で周辺地区の環境をそこなうことはないと、機会あるごとに述べています。しかし、はたして本当に公害は出ないのかどうか。疑問をおもちの方も多数おられることでしょう。

地域の環境を守り、清潔な町づくりに積極的にとりくまれている、宇治市環境衛生連合会(会長=北川兵太郎さん)では、この疑問に着目され、最新の清掃工場を自分の目で実際に見てみようと、さる四月三十日に名古屋市の猪子石清掃工場を見学されました。

ゴミ問題は、建設予定地の市民の方や、関心のある特定の方のみの問題であってはなりません。この機会に私達みんなの問題として、あらためて考えてみたいものです。

当日参加された約百名のらは、よほど目をこらさなければ、臭いの発生源である生ゴミは、エアーカーテンと仕切壁で完全にシャットアウト、もちろん作業をする職員もガラスごしの遠隔操作。いやな臭いに顔をしかめるものは一人もいなかった。このように清掃工場から出る公害対策については万全で、なんら心配することはないようです。しかし収集車による公害、ゴミ汁のたれ流し問題が解決されていないことが、見学者のみなさんも不安に思われているようでした。

毎日二五〇台から二八〇台の多くの収集車が、清掃工場近くで一本の道路に集中し、特に夏場、西瓜のシーズンにたれ流しが激しくなる。

対策としては、消毒液の散布をしているが、完全な対策にはなっていないとのことでした。一日だけの見学ではありましたが、見学者のみなさんの大多数の方からは、収集車による公害対策を十分なものにするならば、町の中に清掃工場があっても決して環境をそこなうものではないとの印象を受けました。

木幡 早阪千代子さん
清水 クニさん

ゴミ焼却による公害については、かなり研究されており、まず問題になることはない。ただ、清掃工場建設過程の騒音、資材運搬車の交通繁雑、危険防止等の対策や、工場操業後に収集車が集中する工場周辺の公害対策が必要です。

また、地域社会が、工場より受ける恩恵を設置条件とすることも必要です。もちろん地域住民と十分話し合いのうえでね……。

五ケ庄 石本さん

第二清掃工場建設については、行政にまかせておくだけでなく、市民と行政が一体となって、建設場所や公害対策等の問題を十二分に討議して、ゴミ戦争のうずにまきこまれないよう、一日も早く建設にとりかかるべきです。さて猪子石工場ですが、工場内部から出る公害はなかったが、ゴミ搬入車両による公害が解決されていないようです。この点に十分配慮すべきです。

伊勢田 藤本 勇三さん

猪子石工場建設にあたっては、地域住民の反対もなく建設されたと聞く。宇治市もこのような工場を作るなら反対も無いと思う。

ゴミ処理場と感じるような点がない。工場内外に悪臭もない。猪子石工場を上まわるようなものなら街のまん中でもさしつかえない。地域住民のために温水プールや温水給湯など行なうならなお良いのではないか。

菟道 丸岡義雄さん

城南衛生管理組合の管内道路状態が非常に悪いようをみたとき、道路整備が現在の状況では問題がある。道路整備を進めるとともに、収集車がゴミを落として放置しておくようなことのないようにしてほしい。

また、ゴミ問題は、私達自身が出したものであるから、他人に迷惑をかけないよう処理されているかどうか、私達自身がみつめなければならない。

菟道 久保晃周一さん

最新式工場の設備は申し分ない。悪臭もなく作業も合理的でゴミ焼却場とはとても思えない。ただ、二八〇台もの収集車が一本の道路に集中するのは問題だと思う。

神明 牧田 繁さん

猪子石清掃工場の立派なのには驚きました。宇治市も、小さくても同じ設備の清掃工場をぜひ建設してほしいものです。

宇治藤山の市道戸の内藤山線沿いで

## 竹の坊やは泣いている

一、竹の坊やは泣いている
生れた場所が悪かった
マットレスを突き破り
春の地上に出たもの
ゴミ/ゴミ/ゴミ/に
泣いている

二、竹の坊やは泣いている
足のゆがみを泣いている
お腰につけたマットレス
ミニ・スカートじゃ
あるまいし
イヤダ/イヤダ/と
泣いている

三、竹の坊やは泣いている
風も光も泣いている
ゴミも子供も老人も
心も捨てる人の世を
ジゴク/ジゴク/と
泣いている

(文・写真とも増井繁一さん)

## 名古屋市猪子石 清掃工場の概略

名称…名古屋市清掃局猪子石工場
着工…昭和44年3月・完成…昭和46年12月
焼却能力…最高600トン/24時間(200トン/24時間×3基)
工事費…約21億円(用地取得費を除く)
敷地面積…24,916㎡
建築面積…4,547㎡(延面積9,671㎡)
工場…鉄骨・鉄筋コンクリート造。地下3階地上5階建
管理事務所…鉄筋コンクリート造。2階建。
煙突…鉄筋コンクリート造。
高さ80m,頂口内径1.80m
貯じん槽…容量6,000㎥(3日分)
灰ピット…容量580㎥(2日分)。灰は搬出し埋立処分

**主な公害対策**

▷煙突からのばいじんが出ないよう電気集じん機とマルチサイクロンでほこりを取り除き,煙突の先を細くして排ガスを上空に吹き上げて拡散する。
▷騒音…騒音発生機器は,できるだけ建物内に納め消音装置や防音壁を設けている。
▷悪臭…ごみ投入場の出入口にはエアカーテンを設け,ごみから発生する臭気は焼却炉内に吸収して分解する。
▷汚水…汚水は薬品で中和し,沈でん槽で処理する

煙突さえなければビルとかわらない猪子石清掃工場

## 古いイメージから脱却
## "収集車の搬入路は分散して"

五ケ庄 松本 勝さん

近代化された清掃工場を見て、私がいままで考えていた清掃工場に対するイメージを一変しました。

国民の生活水準が高くなれば、廃棄物が増加するのは必然的であり、人口が増加すれば、これに比例するのも当然である。

市の行政として、一日としてゆるがせに出来ない問題であり、また、市民としてもおたがいに廃棄物を少なくし、清掃業務が円滑に進められるよう協力すべきである。

私たちの大和田区では、昨年初めより、おたがいにできるだけゴミを少なくし収集がスムーズに行なえるよう協力し、努力してきて少しは良くなったと自負している。

今回、市が計画している新設工場敷地問題で、地域住民が反対されているが、住民の方には、どんな工場ができるのか十分知らされていないのではないだろうか。

今日見た、無臭で無煙・無騒音の工場であれば、反対することはないと思う。ただ工場への搬入路に問題がある。一日二五〇台から二八〇台の収集車がたった一本の道路に集中するのであれば、苦情が出てあたりまえであろう。用地の関係もあろうが、少なくとも、二~三本の道路を作り、収集車を区分すれば、住民からの苦情も、ほとんどなくなるのではないだろうか。

市は、なぜ、今回の建設計画前に、地域関係者に今日のような見学会を行なわれなかったのか。一般市民は、清掃工場はくさい、やかましい、公害が発生するといったイメージしかないと思う。これを変えるべきです。また、清掃工場の高熱を利用して、付近住民に温水を送るとか、温水プールを作り、レジャーセンターのようなものを作る等して、地域住民に還元すれば、住民の納得も得られると思う。もちろん、街のまん中でもよい。

宇治市もますます人口が増加し、廃棄物も増加するでしょう。将来のことを考えて、一日も早く建設され第三・第四の清掃工場の計画もたてられることを願うものです。

神明 藪田 要三さん

ゴミ処理工場から受けるいままでのイメージは、悪臭とハエ・煙を連想したものですが、科学の粋を集めこれらの公害を無くした猪子石工場をこの目で見て驚ろきました。遠隔操作による作業はボタンを押すだけ。作業員も衛生的。外部から見ると、美しい建物の中では、なにをしているのかわからない。もちろん煙も見えず、臭いや騒音もなく、近くには一般の家屋が並んでいる。いままでの理想が現実になった感がします。係員の方に、莫大な建設費と維持費が必要でしょうと質問したところ「お金をかけて我々自らが出したゴミを処理していく積極的姿勢がこれからのゴミ公害に対する考え方でしょう」という返事が返ってきました。ゴミ公害の元凶者は自分である。自分自身が前向きの姿勢で考えるべき時代であり、汚ないといったゴミ焼却場のイメージからの脱却しなければと思います。

建物の内部には問題はないと思いましたが、工場までの道路と運搬車に問題が残ります。工場への進入路を特別に作るとか、車から落ちるゴミや悪臭をシャットアウトできない限り、現状では不都合や苦情をなくすことはできません。

処理場の建設は、私たち市民自身が考える時代であり、ゴミ公害の元凶は自分であることを再認識することが解決への道だと考えます。

# オープンに対話を
## 問われる住民自治能力

**伊勢田町　増井　繁一さん**

なるほどゴミ焼却場は、全住民から毛虫のように嫌悪されている。だからといって、行政が住民を遮断し、最新型焼却装置（排煙、防音、防臭）さながらの密閉式事前協議や、抜うち指定用地の発表はいただけない。ものごと万事、隠すが故に疑惑が生じる。真に無公害性の焼却装置なら堂々と市民参加を前提としたオープン方式の選択こそが、住民を除外した密閉式会議よりはるかに高次元でしかも創造的な住民のコンセンサスに接近したであろう。

名古屋市の白亜のゴミ清掃工場は、典型的な無公害性を、その実像を通して如実に立証してくれた。それは見学者宇治住民をして、古いパターンに固定したゴミ観念（既製品的焼却場のアレルギー）の覚醒を容赦なくせまるものであった。

焼却能力六百トン、平地で周囲に住宅群を配した立地条件。操業開始以来、地域住民の苦情は、皆無に近いと。安全かつ無公害を誇る焼却装置であれば、当然の帰結ではある。

名古屋市のゴミ処理行進曲は、二百十万人市民と行政との合奏で、昭和五十年度に九百トン焼却工場を設置し、翌五十一年度にさらに同規模工場の建設が約束され、確実に着工の運びとなって、時代に先駆している。

ここで謙虚に自省してみたい。いかなる住民であっても、ゴミを出さない住民は一人もいない。家庭ゴミの排出源は明確に住民である。自分が出したゴミは、自分の手で始末をする。このいとも単純で厳しい原理に照らされ、広域住民の連帯性を、ま横の線で貫くゴミ処理問題は、即ち住民自治能力を識別するバロメーターであるといえよう。

環境汚染の社会的責任の追求は、単に企業の排出物のみにとどまらず、住民も故に無責任を自己に問わなければならない。週二回のゴミ収集と地域環境衛生の充実は、みんなの要求であり、その前提条件こそは、まさしく砂よみ段階に直面した第二ゴミ焼却場の建設にほかならない。

**宇治　森　金弥さん**

ゴミ焼却場としては、画期的なものだと思います。公害についても無害とのことでまことに結構だと思います。さらに余熱を利用し、給湯施設を設けて、社会福祉に貢献すればなお結構です。

猪子石工場に勝るとも劣らない工場を、宇治市に一日も早く建設し、週二回収集を切望します。

**炭山　多田　初枝さん**

たいへんきれいな工場でした。宇治市の清掃工場予定地の住民のみなさんに、ぜひとの工場のお話をしてあげたい気持です。

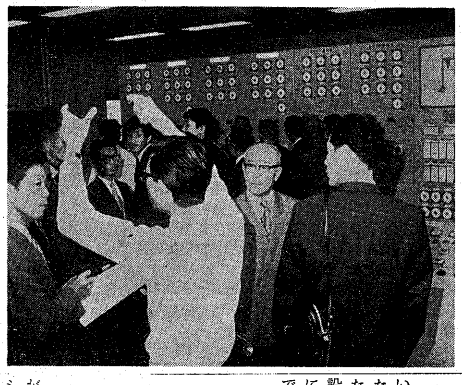
私はこのような工場ならどんな場所でも、地域住民のみなさんには理解し、協力していただけると思います。

**神明　中尾　次三さん**

衛生的で清潔な感じをうけました。建物も近代的でまるで市の庁舎のようでした。工場内で作業されている職員さんも余裕のある態度で働いておられて、設備や環境もそれにふさわしいものでした。宇治市も一日も早く用地問題を解決して工場を建設してほしいものです。

**宇治　松浦マサエさん**

たいへん立派な建物で、びっくりしました。



計器盤がならぶ中央管制室

**小倉　首藤三喜春さん**

設備、環境とも素晴らしい猪子石清掃工場を見て、たいへん参考になりました。宇治市の清掃工場の新設予定地の付近のみなさんにも、ぜひ見てほしいものです。

# 工場建設は一日も早く

**伊勢田　白砂　茂さん**

建物が立派で良い。機械が精密なので、故障や操作ミスで運転できなくなった場合、一時的にもゴミが積み重ねられるようなことはないだろうか。名古屋市では、処理できないゴミを埋立地に運んでいるようだが宇治市もこのような場合のことも考えておいてほしい。公害がほとんどなく、こんな立派なものなら大賛成です。建設される場合は地元のみなさんと十分話し合いをされて、理解していただくように。

**神明　岡地　孝三さん**

工場建設当時は住宅も少なかったためスムーズに建設できたようである。工場設備は科学の粋を集めての理想的なもので、公害のおそれも少ないので完全だと思う。しかし、ゴミ輸送路等については、かなりの反対があるものと思う。宇治市においては、ゴミ収集車の搬入道路の点に留意して建設計画をたてるべきだと考えます。

**菟道　友田三次郎さん**

建物は近代的で、見苦しい感じはない。設備も良い。一般公害としては、二百八十台の収集車によるものです。この点を十分考えれば問題はないと感じました。

**菟道　佐藤　繁さん**

極めて近代的であると感じました。ただ、昭和四十四年着工、四十六年完成はその後の技術革新があるわけで、公害に関する基準も一段と問題とされる折でもあり、宇治市では最新の技術による建設こそ急務と考えます。

立地条件は、山間部だから良い、平地住宅地域は不適当とは、いちがいに申せませんが、工場建設にあたっては、収集車の経路をいくつかに分けて出入りをすることや、じん芥ダクトに溜った汚水の処理場を設けること、電波障害は別途アンテナをたてることなど十分な公害対策が必要でしょう。ゴミ処理と公害対策はきり離して考えることはできません。総合的な公害対策により解決をねがいたい。宇治市での工場建設に際しては、設置地域の土地確保の問題が適切に進行せず、本末転倒の感がありますゴミ処理の必要性は、当然音人等認識していることと思います。地域住民の理解を得て対処されるよう望みます。

**開　市村源之助さん**

近代的な猪子石工場を見て、ゴミ処理に対する認識をあらたにしました。従来いだいていた公害の心配も払拭され、非常に有意義だったと思います。このような機会を、建設予定地のみなさんにもぜひ。地域住民の理解を得られてはいかがでしょうか。

# 公害対策は最新の技術で

包装の廃止を呼びかける運動をすることも必要だと痛感しました。

# 名古屋市民の意見
## ぜんぜん気になりません

猪子石清掃工場の近くにお住まいの名古屋市民の方にご意見を聞いてみました。

**小立　茂さん**

半年前に引越してきたんですが、もうすでにこの工場は有りました。ゴミを燃やしているのか燃やしていないのか、煙突の先をよく見なければわからないぐらいです。煙突が高いせいか、臭いも全然しません。工場があっても別にどおってことはないです。収集車が通ってる道路も案外きれいにしてありますし洗たくものが汚れたりすることもありません。工場のことは別に気にもしてませんし、不自由も感じていない。街の中であっても良いと思いますよ。必要な施設なんですから……。

**伊藤　明代さん**

全然気にならないですね。ゴミも目には見えないし、工場があっても、なにも言ってないですよ。一年前ここへ来るときは、こんな工場があってどうかなとは思いましたが、住んでみて全然気にならないですよ。

タクシーに乗って帰るときなんか、「焼却場の近くだ、煙突のところですよ」といって乗るんですよ。よくわかって便利です。

ゴミ焼却場の前ですが、いやだとは感じてません。工場の中の設備も良いし、美しい会社っていう感じね。

煙が出てるかどうかなんて気にもしてないし、この付近の人たちからも被害を受けたという話は聞いたことがありません。

**伊勢田町　浜中ケイ子さん**

公害のない近代的設備の工場。実に素晴らしいと思いました。残念なのは、燃えないゴミを分けて集めてないことですね。宇治市にもこのような焼却場が出来たらどんなに素晴らしいことでしょう。第二焼却場建設予定地の地元の方々が納得されるよう話し合いをされて、一日も早く建設にとりかかってほしいものです。また、ふえる一方のゴミに対しては、各自が少しでもゴミを出さないよう気をつけるだけでも、たいへんなゴミの減量になると思います。毎日の買物には包み紙を用意するとか、訪大

工場係員の説明を熱心に聞く見学者のみなさん

# 市民のみなさんにお願い
## ゴミ収集にご協力ください

ゴミ量の増大、ゴミ質の変化、それに加えて交通事情の悪化がかさなって、ゴミ収集作業はますます困難になってきています。

ゴミ収集作業をスムーズに進め、町を美しく保つため、次のような点にご協力ください。

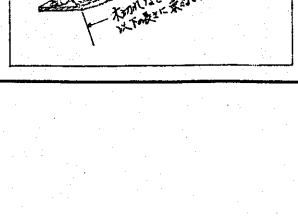
■ゴミ容器は、ナイロン袋かポリバケツを使ってください。袋に入れる場合は、口をしっかりと結んで出してください。積込み作業がひとつの作業ですみ、能率があがります。また、ゴミを出して置いてあるとき臭気がしないばかりか、ゴミが散らかることもなく衛生的です。

■燃えるゴミと燃えないゴミは必ず分けて出してください。燃えないゴミの収集日は毎月一日号の市政だよりでお知らせしています。

■ゴミは前の日から出さずに、収集日の朝に出してください。

■木切れなどは、三〇センチ以下の長さにたばねて出してください。

■ダンボール箱を捨てられるときは、箱の中にゴミを入れないで小さく折りたたんでたばねてください。

■大きなゴミや特殊なゴミは、清掃課（電話㉒三一四一番）で相談してください。

**ごみや汚物のない清潔なまちをつくりましょう**
（宇治市民憲章から）